2026 年 11 月 2 日

DeSC ヘルスケア、日本公衆衛生学会にて kencom の使用と健診主要検査値の変化の関連性についての研究成果を発表

株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業の中核を担う株式会社データホライゾン（本社：広島県広島市、代表取締役社長兼 CEO：瀬川翔）の子会社、DeSC ヘルスケア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：瀬川翔、以下 DeSC ヘルスケア）は、10 月 29 日から 10 月 31 日に開催された第 85 回日本公衆衛生学会にて、DeSC データベースを用いてパーソナル・ヘルス・レコード（以下 PHR）アプリ kencom※の使用と健診主要検査値の変化の関連性を実証する研究成果を発表しましたのでお知らせします。

近年、高血圧や糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防および管理において、スマートフォン等を通じて個人の健康状態を自己管理できる PHR アプリの介入効果に関する研究が広く注目を集めています。しかし、特定の疾患を有するハイリスク集団に対する PHR の介入効果に関する研究が多く行われた一方、健康な方を含む一般人口集団を対象とした調査研究は十分ではありませんでした。
こうした背景を踏まえ、本研究では DeSC データベースおよび kencom を通じて得られた匿名加工情報データを活用し、kencom の使用と特定健診主要検査値の変化との間に統計的に有意な関連性があることを実証しました。

今後も DeSC ヘルスケアは、健康・医療分野におけるリアルワールドデータを活用した研究を支援し、エビデンス創出を促進することで生活者の健康寿命の延伸と医療費適正化の課題解決に貢献してまいります。

※kencom は DeSC ヘルスケアの登録商標です。

【発表概要】

学会名	第 85 回日本公衆衛生学会総会　https://www.c-linkage.co.jp/jsph85/
会期	2026 年 10 月 29(木)～31 日(土) ※発表日時: 2026 年 10 月 31 日(土)
会場	京王プラザホテル(ポスター会場:新宿 NS ビル　30F スカイカンファレンス)
演題	kencom の使用と健診主要検査値の変化の関連性
著者	劉寧、伊藤康太郎